

JSS 海外安全速報

北西部シナロア州で麻薬組織による騒乱発生

《メキシコ：犯罪》

10月17日（木）午後、北西部シナロア州の州都クリアカンで、同国最大の麻薬組織の一つ「シナロア・カルテル」に対する連邦治安部隊の取締作戦を切っ掛けに、双方の間で銃撃戦が続発した。

事実関係の情報は錯綜しているが、連邦治安部隊は、同組織の首領エル・チャポ（米国の刑務所に収監中）の息子の1人であるオビディオ（28歳）を逮捕したとの情報がある。

それに対して「シナロア・カルテル」は同人の奪還を目的に、市中心部にある州検察関連施設付近などで治安部隊と銃撃戦を繰り広げたと見られている。

SNS上には、機関銃を据え付けた麻薬組織のピックアップ車の画像や、市内に激しい銃撃音が鳴り響く動画などが投稿されている。

加えて、同市の少なくとも複数か所で、麻薬組織が車両に放火して道路を封鎖した。

また、同市の刑務所でも銃撃戦が発生し、刑務官2人が死亡、囚人20人～30人が脱獄した。そのうち4人は既に再拘束された。

シナロア州政府は市民に対し、「平静を保ち、外出せずに事態の進捗に関する公式発表を待つように」と呼びかけている。

シナロア州以外の地域でも、「シナロア・カルテル」が報復として、政府関連施設、裁判所、軍・警察・検察の関連施設、米大使館・総領事館（米国はメキシコの麻薬戦争に深く関与）などを狙った銃撃・爆弾テロを敢行するおそれがあるため、そうした場所には極力近づかないか、不用意に長居しないことをお勧めする。

以上

本レポート内容の全部または一部の転送・転載・第三者への提供を厳禁します。